

資料提供	
令和元年9月13日	
担当	県立図書館 (中尾)
電話	0857-26-8155

とっとり県民の日関連展示

「鳥取県の郷土玩具～^{いたゆうせい}板祐生生誕130年に寄せて」を開催します

「とっとり県民の日」に関連して、鳥取県の魅力を発信する展示を開催します。
 今回は、孔版画家の第一人者であり、郷土玩具・手ぬぐい・うちわなどの生活資料の収集家である「板祐生」の生誕130年にちなみ、当館所蔵の板祐生の版画作品等を紹介します。また、鳥取県の誇る手仕事の「郷土玩具」実物も展示しています。

1 展示期間

令和元年9月17日(火)～10月9日(水)

・休館日 9月30日(月)

・開館時間 午前9時から午後7時まで(土、日、月曜は午後5時まで)

2 会場

鳥取県立図書館 2階 特別資料展示室

3 展示内容

- ・鳥取県の郷土玩具実物 約30点(鳥取県市場開拓局販路拡大・輸出促進課から借用)
- ・板祐生の版画作品(玩具雑誌、絵曆等) 約30点(当館所蔵)
- ・板祐生を紹介した図書、郷土玩具に関する図書等 約50冊(当館所蔵)



板 祐生 (いた・ゆうせい) プロフィール

明治22(1889)年～昭和31(1956)年。本名：板愈良(いた・まさよし)。

孔版印刷の第一人者。生活資料の収集者としても高い評価を得ている。

東長田村(現南部町)生まれ。教師として過ごすかたわら、郷土玩具・手ぬぐい・うちわ・ポスターなどに心ひかれる。

自分の発見した喜びを後世に伝えたいと謄写版による孔版印刷に刻む。

大正14(1925)年から、『富士のや草子』という和綴りの雑誌を発行。

その後、凝縮された技術は孔版印刷の頂点を極めた。絵曆の製作は昭和21(1946)年から死の前年まで続いた。

参考『近代史を飾った鳥取県西部人物伝』